

新潟県長岡市

【3期計画：平成31年4月～令和7年3月】

・本市は、新潟県のほぼ中央、大河信濃川に沿って開かれた広大な新潟平野の南端に位置する中越地方の中核都市である。本市の中心市街地は、江戸時代はじめの長岡城の築城とともに形成された場所であり、古くから城下町として発展してきた。
 ・人口272,016人(H30年4月住民基本台帳)、面積891.06km²

【前期計画(平成26年4月～平成31年3月)の概要】

- 1期計画で整備したアオーレ長岡の活用や社会福祉施設、住居機能等を集約したながおか町口御門の整備により歩行者通行量は増加したが、来街者の回遊がアオーレ長岡や駅周辺に留まるなど限定的である。
- 営業店舗数は増加しているものの、空き店舗数は5年間で38箇所増加、7年間で933人の就業者数が減少するなど、産業の活力が低下している。
- 再開発事業によるマンション供給で転入者が増えたが、若者を中心に転出も増加。若者が感じる魅力の低下が人口減の一因と考えられる。

【中心市街地の課題等】

- 密度の高い賑わいを生み出し、回遊の拡がりを創る
 新たな賑わいを創り出すとともに、官民が連携してまちなかの魅力を高め、大手通交差点の西側まで回遊の拡がりを創ることが必要。
- 産業を育成する力、産業が集積する力を高める
 多くの情報が集まる中心市街地の強みを活かして、多様なビジネスが生まれ、育ち、集積する拠点としての輝きを取り戻すことが必要。
- 若者が集い、活躍できる環境を創る
 3大学1高専や地元企業等が連携した長岡版イノベーションの実現に向け、若者が中心市街地に魅力を感じ、集い、住まい、活躍できる環境の整備・充実を図ることが必要。

【目指す中心市街地の都市像】

みんなが創るまちなかの価値
 ～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～

【前計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値 ※()は目標値の達成見込
まちに「来る人」を増やす	歩行者・自転車通行量 (平日：16地点13時間)	95,033人/日 (H25)	100,000人/日 (H30)	104,353人/日 (H29:達成見込み)
まちに「住む人」を増やす	まちなか居住人口	5,677人(H25)	5,900人(H30)	5,577人 (H29:未達成)
まちを「使う人」を増やす	まちなか公共・公益施設の 利用者人数	1,500,000人 (H24)	1,600,000人 (H30)	1,461,394人 (H29:達成見込み)

【新計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値
まちを「歩く人」を増やす	大手通交差点より西側の 歩行者・自転車通行量 (平日：8地点13時間)	24,409人/日 (H30)	26,652人/日 (R6)
まちで「起業する人」を増やす	中心市街地内の起業数	25件/5年 (H26年度～H29年度の 平均×5年)	40件/5年 (H31～R6)
まちに「集う若者」を増やす	まちなか居住人口 (30代以下人口)	1,656人 (H29)	1,724人 (R6)
	【参考指標】学生限定の バスサービス利用者人数	78,881人 (H29.4～H30.3)	80,419人 (R6)

まちを「歩く人」を増やす

- 【主要事業】
- ・大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
 - ・まちなか図書館(仮称)整備事業
 - ・産学連携情報交流センター(仮称)整備事業
 - ・歩道の有効活用「まちカフェ」事業 など

まちで「起業する人」を増やす

- 【主要事業】
- ・NaDeC構想先行実施事業
 - ・若者チャレンジショップ事業
 - ・学生起業家育成事業
 - ・長岡まちなかりノベーション推進事業 など

まちに「集う若者」を増やす

- 【主要事業】
- ・若者のまち居場所づくり推進事業
 - ・NaDeC BASE活用事業
 - ・学生交流「ちょい乗りバス券」実証実験事業
 - ・まちなか居住区域定住促進事業 など

長岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちを「歩く人」を増やす

①大手通坂之上町地区 第一種市街地再開発事業

民間のアイデアと資金力を積極的に活用した商業・業務機能を導入する当該事業と併せ、人づくり・学び・交流機能を導入する「まちなか図書館（仮称）整備事業」や「産学連携情報交流センター（仮称）整備事業」なども主要事業として位置付け、当該地区に多様な賑わいの創出を図り、まちなかの回遊性を高める。



完成イメージ

②歩道の有効活用「まちカフェ」事業

中心市街地内の歩道を活用し、オープンカフェ等を実施して賑わいの創出を図る。

まちで「起業する人」を増やす

③NaDeC構想先行実施事業

3大学1高専から提案されたNaDeC構想を受け、起業家や学生などの活動拠点となる環境を整備し、産学官金が連携して共同研究や起業支援を実施する。

④若者チャレンジショップ事業

起業を目指す若者を募り、体験出店、セミナー、個別相談などを通じて支援する。



中心市街地面積：約96.3ha

中心市街地人口：5,712人（平成30年3月）



中心市街地全体で
実施する事業
⑧

歩行者通行量
調査地点

まちに「集う若者」を増やす

⑤若者のまち居場所づくり推進事業

柳原旧庁舎跡地を活用し、若者が居住できる環境等を整備し、中心市街地で活躍するための生活拠点の形成を図る。

⑥NaDeC BASE活用事業



日常的に若者が集い交流が生まれるコミュニティスペースを中心市街地に設置し、まちで活動し活躍する若者を増やす。

⑦学生交流「ちょい乗りバス券」 実証実験事業

中心市街地から離れた場所に立地する市内の大学等と中心市街地を結ぶバスを、学生限定割引運賃で乗車できるようにすることで、若者の中心市街地への来街を促し、活動し、活躍する若者を増やす。

⑧まちなか居住区域定住促進事業

固定資産税を一定期間免除することでまちなか定住を促進するとともに、子育て世帯の免除期間を延ばすことで若者居住人口の増加を図る。